ポカリスエット郷国GCONC ソフトテニスチャレンジカップ シングルス2025

NPO法人ソフトテニス振興会BIGCONC

観る文化を創る 3回目の挑戦



2025.2.15(SAT) J:COM:[清][[汉禄一ツパー夕]

NPO混入ソフトテニス振興会BIGGONC 大塚興葉版記念社 市川市ソフトテニス連盟 ヨネックス版記念社 ミズノ版記念社 ナガセケンコー版記念社 低記念社ルーセント

#学生の一撃を目撃する

ポカリスエット杯BIGCNCソフトテニスチャレンジカップシングルス2025

MAIN ORGANIZER

NPO法人ソフトテニス振興会BIGCONC

TOP PARTNER

大塚製薬株式会社

TOP SUPPORTER

ヨネックス株式会社 ミズノ株式会社 ナガセケンコー株式会社 株式会社ルーセント 合同会社アップライズ FUNC合同会社

SPECIAL SUPPORTER

ヨネックススポーツ振興財団

PRAYER

法政大学

橋場 柊一郎 森川 亮介 唐澤 すみれ 関口 みれい

日本体育大学

岩田 皓平 佐藤 駿丞 松岡 琴美 左近 知美

明治大学

岡田 侑也 間庭 賢人 西山 なつみ 大野 栞

立教大学

北爪 琉登 符井 悠月 鈴木 美貴 渡辺 莉央

東海大学

柴 誠太郎 青木 真尋 温品 芽叶子 清水 紅葉

國學院大学 東京女子体育大学

須田 零生 金井 亮太 中島 はな 上里 しゅり

中央大学 白鴎大学 日本女子体育大学 武市 大輝 板舛 慶大 菊次 萌花 田村 莉寧



#学生の一撃を目撃する



3回目の開催となった学生シングルス大会であるポカリスエット杯BIGCONCソフトテニスチャレンジカップシングルス。各校3月のシーズンインに向けて調整が進む中、大学界で活躍中そして将来有望の選手が集結しました。

この大会は大学シングルスの『強化』と小中高生に対して『観る文化』を創る2つを目的として開催いたしました。大学カテゴリーにおけるシングルス競技は非常に重要な部門です。各校の名誉をかけて戦う春秋のリーグ戦では、男子4ダブルス1シングルス、女子2ダブルス1シングルスと、勝敗と流れを左右する種目です。しかしながら、シングルス特化の大会は公式戦以外開催がほとんどなく、強化につながる試合がない状態でした。また、世界選手権大会正式種目であるシングルスをより発展させるためにBIGCONCができることとは。模索してたどり着いたのがこの大会です。2度負けるまで優勝が狙えるダブルイリミネーション方式を採用し強化につながる大会を企画しました。また、全国屈指の選手かつ、学生ならではの活力あふれる試合をより多くの方に知って、観戦いただきたい。そして、推し選手を見つけ、憧れを持って普段の練習に取り組んでほしい。そうすることで、ロールモデルとなる選手を知り、よりプレーをすることが楽しくなってもらいたい循環ができると思っておりました。今回、試合の合間に選手の方にもご協力をいただき、サインや写真撮影などでつながる瞬間を作っていただきました。強化と普及を双方に行い、次世代の日本代表選手を育成する、次世代の日本を担う子どもたちを育成する。それが体現できる大会になったと考えております。

今大会開催にあたりご支援を賜りました大塚製薬株式会社様はじめ各種スポンサー様、選手の皆様、そしてご来場いただきました皆様に御礼を申し上げるとともに、この 大会が業界にとってより良いものになるよう、弊会一同精進してまいります。

NPO法人ソフトテニス振興会BIGCONC理事長 ポカリスエット杯BIGCONCソフトテニスチャレンジカップシングルス2025大会会長

大会結果

国内トップクラスの学生が集結した今大会。 ファイナルゲームにもつれ込む接戦もあり、 波乱の展開も巻き起こった。

男子優勝を果たしたのは橋場柊一郎 選手(法政大学)。2024年世界ジュニ ア選手権大会でも優勝を果たし、名実 ともに大学生離れした国内トップ選手 として出場。圧巻のプレーで選手だけ でなく観客をも圧倒していた。準優勝 の岡田侑也選手(明治大学)は、

WINNERサイド4回戦で橋場選手に 1-④で敗れ、REVENGEサイドから 勝ち上がり再戦を望んだ。決勝は1ゲーム目はリードし、長いラリーも続く 展開があった。明治大学の主軸となるうである彼に今後も目が離せない。第3位入賞を果たした北爪 琉登選手(立教大学)は、アグレッシブなプレーで強豪ぞろいのREVENGEサイドを勝ち抜いた。

女子優勝は松岡 琴美選手(日本体育 大学)。昨年決勝で惜しくも敗退した1 年越しのREVENGEを果たし優勝。 冷静なプレーで確実に相手を翻弄さ せ、優勝を勝ち取った。準優勝は左近 知美選手(日本体育大学)。直前でのエ ントリー変更かつ、アジアジュニア選 手権大会、東京インドアと連戦続きの 中、9試合を戦い抜き、決勝へ登り詰 めた。そして、第3位は菊次萌花選手 (白鴎大学)。前回大会、日本代表候補 者相手に金星をあげ、ダークホースと して波乱を起こした。2年連続出場の 今回、2度も番狂せを起こした。もは やダークホースではなく、実力が伴っ ているのが証明された。

入賞された6名を筆頭に、今大会は 将来有望の各大学のエース格が出場さ れた。今大会出場選手が2025シーズ ンどんな活躍が起こるかごうご期待。



男子優勝 橋場 柊一郎(法政大学) 準優勝 岡田 侑也(明治大学) 第3位 北爪 琉登(立教大学)

女子優勝 松岡 琴美(日本体育大学) 準優勝 左近 知美(日本体育大学) 第3位 菊次 萌花(白鴎大学)



上岡俊介プロ講習会を開催。 2024年世界選手権大会優勝、 2024年天皇杯第3位と 名実ともに国内トップクラスの 選手をお招きし開催。 近距離でトップクラスの技術を 見れる貴重な時間を提供した。

観る



する

学生トップクラスの試合を見ながら イメージを沸かせ、

その上でトップ選手から学ぶ。 観るとするを掛け合わせることで 大きな経験を得ることができます。

選手の魅力を知っていただくための

3つの施策

1人でも多くの学生プレイヤーを知っていただきたい。 実力とユーモアあふれる学生のファンになっていただきたい。 今大会のテーマを完遂する上で行なった施策をご紹介。



②推し選手ファン投票

当日会場に来れない方にもこの大会と出場選手を認知してほしいと思い、オンラインでのファン投票企画を開催。優勝選手にはポカリスエット1ヶ月分、ディズニーリゾートペアチケットが贈られるため、選手も大学や自らのSNSを駆使して投票を促し、大きく盛り上がった。優勝は963票を獲得した橋場柊一郎選手(法政大学)。大会1週間前まで2位に推移していたが最後の最後で逆転し、ファン投票1位の座を手にした。



①推し選手診断

出場選手の全員の特徴を集計し、プレースタイルや性格などの4つの質問に答えるだけで、類似するピッタリな選手が見つかる『#推し選手診断』。共通点を見つけ、より選手の認知度を上げるための施策として前回大会から取り入れたBIGCONCオリジナルコンテンツ。昨年とは異なり、パーフェクトマッチとニアピンマッチも設定し、より多くの方に選手の個性を知っていただくようにしました。大学時代からファンになっていただき、今後の国内トップ大会で活躍する際に大きな声援が起きることを願って…。



③選手インタビュー

選手の生の声をより沢山の方に知っていただきたい。試合を終えた選手20名にインタビューを実施。インタビュアーは現役時代日本一も経験したBIGCONC齋木が担当。プレイヤー目線の質問もあれば選手の個性を引き出すような内容も。詳細はBIGCONC インスタグラムをご覧ください。



数字で見る ポカリスエット杯 2025

特設ホームページ閲覧数 (2024.11月~2025年2月末) **110,200回以上** 推し選手ファン投票有効票 **3,353票**

大会期間中インスタグラム閲覧数 **521,5100回以上**

関連動画再生数(32本) **190,500回以上**

デジタルで見る ポカリスエット杯 2025

今大会、ソフトテニス界初のスコアシートデジタル化の試験運用を実施しました。審判がスコアをスマートフォンから入力すると、特設サイトいに反映され、試合状況がタイムリーにわかります。これまでも、これからも、BIGCONCは業界促進のために率先して行動していきます。





























2020年、当時コロナ禍と部活動改革の影響で子供達のアウトプットの場が激減していました。非公式かつ民間であればこの課題を打開できるのではないか。この競技をもっと多くの方に知ってもらいたい、楽しんでいただきたい。そして子供達の成長環境を提供したい。当時高校卒業して間もない5名によってBIGCONCは発足しました。あれから5年。BIGCONCの由来通り大きい(BIG)繋がり(CONClusion)を形成しながら活動してきました。今大会も運営はBIGCONCスタッフをはじめ、志をもつBIGCCONCER(大会学生役員)と共に開催。若い力でこれからも業界を盛り上げていきます。

ソフトテニス界と子供達の未来のために。



特定非営利活動法人ソフトテニス振興会BIGCONC

茨城県つくば市上郷3316 bigconc2020@gmail.com 090-6707-5068